

加速するサービス産業の海外展開 !!

外食や教育、小売などサービス産業分野の海外展開が活発になっています。背景には、少子高齢化に起因した国内市場の縮小傾向や、インバウンドを契機とした海外における日本のサービスに対する関心の高まりがあります。一方、海外進出は、言葉の問題はもちろん、現地ニーズにローカライズした事業展開、従業員や原材料の確保、そして現地パートナーとの関係構築など、検討課題が多く、企業にとっては高いハードルとなっています。そこで3月15日に、京都のサービス産業企業の海外展開を目指し、「サービス産業海外展開セミナー」をジェットロ京都として初めて開催しました。

サービス産業進出にはジェットロの活用を

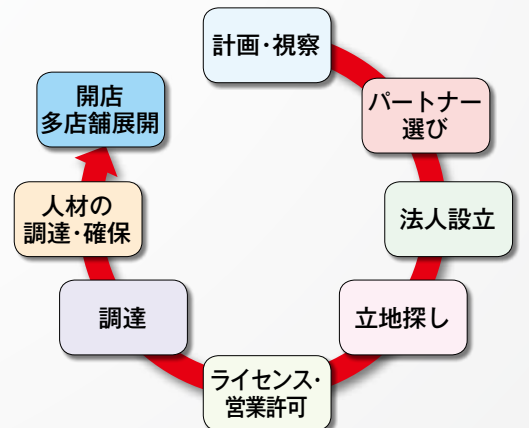
ジェットロサービス産業部の担当者より、サービス産業分野での海外進出の際の基本的な事項について説明しました。「サービス産業」は「製造業」とは異なり、外食や理美容、教育、小売など業種ごとに各種規制や参入障壁があります。例えば、インドネシアでは、外国人は髪を切ることができず、また理美容店の外資参入は禁止されています。

進出にあたっては、事業計画の立案から始まり、法人設立や不動産探し、ライセンス取得や人材確保など、日本とは事情が大きく異なることから、時間と金銭的負担が少なくありません。数年単位での余裕を持った計画立案を行い、弁護士やコンサルとの連携と併せて、海外進出のフェーズに合わせたジェットロのサポートを是非活用してほしい旨呼びかけました。

海外進出の先輩企業から学ぶ

事例紹介では、学習塾など教育サービスを展開する(株)京進の立木会長が登壇。同社がドイツ、中国、アメリカ、ベトナム、ミャンマーなど広く事業を展開するようになった経緯や海外進出で得た「経験」、また海外展開することで国内事業の見直しにつながった効果について話していただきました。加えて、トップ自らが出向くことの重要性についても指摘いただきました。

続いて、(有)前田珈琲の前田社長ならびに同社の中国ビジネスをサポートする(株)奥村企画の奥村社長が講演。中国・北京に2店の出店を果たしており、そのいきさつや各店舗を展開する際のコンセプト設定、今後の展開や中国進出の注意点などを説明いただきました。「中国の成長のスピード、ライフスタイルの変化は目覚ましい。“昔の中国”のイメージで中国市場を判断しては見誤る。実際に自分の目で現場を見ることが非常に大切」との言葉が印象的でした。



サービス産業の進出に係るハードル
(講演資料を基に作成)



海外での経験を語る立木会長



前田社長



奥村社長

海外進出フェーズごとに支援策を用意!

ジェットロでは、海外進出を検討・計画中のサービス産業分野の企業を対象に、ビジネスの段階に応じたシームレスな支援体系を形成しています。海外ネットワークを活用した現地情報の提供から、専門家による個別企業支援に至るまで、無料にてご活用いただけます。海外進出したい京都企業の皆さまは、まずジェットロ京都へお気軽にお問合せください!



【問合せ先】
日本貿易振興機構(JETRO)
京都貿易情報センター

JETRO

所在地 / 〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
京都リサーチパーク2号館2階
TEL / 075-325-5703 FAX / 075-325-5706
E-mail / KYO@jetro.go.jp
URL / <http://www.jetro.go.jp/indexj.html>